

育児休業手当金請求書

新規
変更

記入例

共通	組 合 員 氏 名	公立 ○○												
共通	組 合 員 生 年 月 日	<input type="checkbox"/> 昭和 <input checked="" type="checkbox"/> 平成	○○年 ○○月 ○○日											
共通	組合員証の記号及び番号	記号	公立大分	番号	123456									
共通	所 属 機 関 の 名 称	名称	○○小学校		所 属 コード									
【新規】	育児休業の初日及び末日 <small>(発令どおりに記載すること)</small>	(初日) 令和	5年 7月 10日	(末日) 令和	6年 7月 9日									
【変更】	変更後の育児休業の初日及び 末日 <small>(発令どおりに記載すること)</small>	(初日) 令和	年 月 日	(末日) 令和	年 月 日									
共通	育児休業に係る子の 氏名及び生年月日	子の 氏名	公立 △△	子の 生年月日	令和 5年 5月 14日									
共通	標準報酬の等級及び月額	等級	第 20 級	月額	260,000 円									
【新規】	育児休業手当金の 請求に係る期間	令和	5年 7月 10日	から	令和 6年 5月 13日									
【変更】	変更後の育児休業手当金の 請求に係る期間	令和	年 月 日	から										
パパ・ママ 育休プラス	配偶者の育児休業期間	令和	年 月 日	か										
パパ・ママ 育休プラス	母親の産後休暇期間	令和	年 月 日	か										
共通	育児休業手当金の請求金額 <small>(給付額は、給付日額【B】、【C】 した額となります。)</small>	<table border="1"> <tr> <td>標準報酬日額 【標準報酬月額÷22 (10円未満四捨五入)】</td> <td>【A】</td> <td>11,820</td> </tr> <tr> <td>給付日額 【A×67/100 (円未満切捨て)】</td> <td>【B】</td> <td>7,919</td> </tr> <tr> <td>給付日額 【A×50/100 (円未満切捨て)】</td> <td>【C】</td> <td>5,910</td> </tr> </table>				標準報酬日額 【標準報酬月額÷22 (10円未満四捨五入)】	【A】	11,820	給付日額 【A×67/100 (円未満切捨て)】	【B】	7,919	給付日額 【A×50/100 (円未満切捨て)】	【C】	5,910
標準報酬日額 【標準報酬月額÷22 (10円未満四捨五入)】	【A】	11,820												
給付日額 【A×67/100 (円未満切捨て)】	【B】	7,919												
給付日額 【A×50/100 (円未満切捨て)】	【C】	5,910												
<p>□一か月あたりの支給額は育児休業取得日から180日まで(土日含む)は【B】に、 181日目以降は【C】に支給日数(各月の土日を除いた日数)を乗じて得た額になります。 □計算の結果、給付日額が給付上限額を上回る場合は上限額を記入してください。</p>														
<p>上記のとおり請求します。</p> <p>公立学校共済組合大分支部長 殿</p> <p>令和 5年 8月 1日</p> <p>住 所 ○○市○○町○○丁目</p> <p>氏 名 公立 ○○</p> <p>上記の記載事項は、事実と相違ないものと認めます。</p> <p>令和 5年 8月 4日</p> <p>所属機関の 名称・所在地 ○○市立○○小学校 ○○市○○町○○丁目</p> <p>所属機関の長 ○○ ○○</p> <p style="text-align: right;">印</p>														